

作成者所属

氏名

被災状況

被災原因

環境スケッチ・写真(現況)

災害復旧箇所河川特性整理票(A表)

審査時、査定時提出

川水系 川 復旧対象地区 都道府県 市区町村 地先

【復旧前の原状】

物理的 特性	被災延長	m	蛇行状況	直線部or蛇行部	水衡部又は水裏部	
	既設構造物	箇所	施工年度	種類		
		当該箇所				
		上流				
		下流				
	横断形状	掘込、山付、有堤、無堤 複断面、単断面				
	河床材料	低水路部：シルト、砂、礫、岩			平均粒経：mm	
		高水敷部：シルト、砂、礫、岩			平均粒経：mm	
	【瀬や淵があるか？】				河床変動	上昇傾向、低下傾向

親水・空間利用	水深	平水時水際 cm、平水時最深部 cm		静水域：有 or 無
	水質	とてもきれい ややきれい ややきたない とてもきたない		
	堤防あるいは河岸部利用状況：(多い、少ない、いない)			用途：
	高水敷利用状況：(多い、少ない、いない)			用途：
	水辺利用状況：(多い、少ない、いない)			用途：
	水辺の親水性：『子供が容易に水に入れるか？』			可 or 不可

自然環境	植生	昆虫
	魚類	残したい自然環境要素は？
	鳥類	

※貴重種には○印

周 辺 環 境	周辺景観要素： 住宅地、工業地、農地、森林、公園、景勝地、温泉、その他()		
	歴史的風土・地区の名称		文化財の名称
	公園等	国立公園・国定公園・都道府県立公園・風致地区・その他()	
	残したい景観要素は？		

【護岸構造・根固工検討諸元】

設計水深	低水路部：m、高水敷部：m	合成粗度係数：
河床勾配	1/	代表流速：m/s
川幅	m	最大洗掘深：m
高水敷幅	左岸	m
	右岸	m

※算出手法詳細は、5章、8章参照